

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
 (仮称)佐川印刷株式会社 書籍パッケージ工場新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>									
1 音環境		-	-	-	-				
1.1 室内騒音レベル		-	-	-	-				
1.2 遮音		-	-	-	-				
1 開口部遮音性能		-	-	-	-				
2 界壁遮音性能		-	-	-	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-				
1.3 吸音		-	-	-	-				
2 温熱環境		-	-	-	-				
2.1 室温制御		-	-	-	-				
1 室温		-	-	-	-				
2 外皮性能		-	-	-	-				
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-				
2.2 湿度制御		-	-	-	-				
2.3 空調方式		-	-	-	-				
3 光・視環境		-	-	-	-				
3.1 昼光利用		-	-	-	-				
1 昼光率		-	-	-	-				
2 方位別開口		-	-	-	-				
3 昼光利用設備		-	-	-	-				
3.2 グレア対策		-	-	-	-				
1 昼光制御		-	-	-	-				
3.3 照度		-	-	-	-				
3.4 照明制御		-	-	-	-				
4 空気質環境		-	-	-	-				
4.1 発生源対策		-	-	-	-				
1 化学汚染物質		-	-	-	-				
4.2 換気		-	-	-	-				
1 換気量		-	-	-	-				
2 自然換気性能		-	-	-	-				
3 取り入れ外気への配慮		-	-	-	-				
4.3 運用管理		-	-	-	-				
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-				
2 喫煙の制御		-	-	-	-				
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.44	-	-				<b>3.2</b>
1 機能性		-	-	-	-				
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-				
1 広さ・収納性		-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-				
3 バリアフリー計画		-	-	-	-				
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-				
1 広さ感・景観		-	-	-	-				
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-				
3 内装計画		-	-	-	-				
1.3 維持管理		-	-	-	-				
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-				
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-				
2 耐用性・信頼性		2.8	0.50	-	-				2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	主要内装仕上材に複層仕上塗材(壁)、ボード類(天井)を使用。	5.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		2.0	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-				
3 電気設備		1.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法	耐震クラスAとして設計を行っている。	4.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	-				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.6</b>	0.50		-	<b>3.6</b>
3.1 空間のゆとり			<b>5.0</b>	0.30		-	
1	階高のゆとり	1階5700mm、2階5530mm、3階4530mm(水上)	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1未満	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			<b>3.0</b>	0.30		-	
3.3 設備の更新性			<b>3.0</b>	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.56</b>		-	<b>2.5</b>
1 生物環境の保全と創出			<b>2.0</b>	0.30		-	<b>2.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮			<b>3.0</b>	0.40		-	<b>3.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮			<b>2.5</b>	0.30		-	<b>2.5</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		<b>3.0</b>	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		<b>2.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							<b>3.3</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>		-	<b>4.0</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPI <sub>m</sub> ]=0.72≤0.80としている。	<b>5.0</b>	0.02		-	<b>5.0</b>
2 自然エネルギー利用			<b>3.0</b>	0.12		-	<b>3.0</b>
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI <sub>m</sub> ]= 0.63	<b>4.7</b>	0.61		-	<b>4.7</b>
4 効率的運用			<b>3.0</b>	0.24		-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>		-	<b>2.6</b>
1 水資源保護			<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
1.1 節水			<b>3.0</b>	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			<b>2.4</b>	0.60		-	<b>2.4</b>
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>		-	<b>3.1</b>
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物に対して72%。	<b>4.1</b>	0.33		-	<b>4.1</b>
2 地域環境への配慮			<b>2.4</b>	0.33		-	<b>2.4</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>2.0</b>	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>2.7</b>	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			<b>3.0</b>	0.33		-	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			<b>3.0</b>	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制						
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			<b>3.0</b>	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	